

## 平成 29 年度事業計画

資金の運用による果実を事業運営の柱としている当財団にとっては、長期間続く超低金利下での資産運用は誠に厳しい状態にある。こうした厳しい状況下ではあるが、アベノミクス後の円安傾向を受けて、リーマンショック後にクーポンの発生がなかった仕組債の改善が見られ平成 28 年度の事業は運用収入の改善が見込め、実質収支は前年度に引き続き収支プラスになる見込みである。しかし、資産運用面では最近の円安傾向を受けて予算超過が期待出来るものの比較的高利回りを維持していた債券の繰上げ償還が相次いで発生しており、直近のトランプ発言による円高懸念と再投資先の利率低下により今後の運用収入は厳しい状況が続くものと思われます。

こうした厳しい環境下ではあるが公益財団としての使命を考え、平成 29 年度事業計画予算は自然科学研究助成(公 1)、褒賞(公 2)、音楽(公 4)は前年どおりとしたが、調査研究(公 3)は多少の減額をした。

29 年度の事業概要は以下のとおりである。

### 事業概要

#### (1) 自然科学研究助成(公 1)

##### ①学術研究助成(第 29 回松尾学術研究助成)

対象研究分野 原子分子物理学及び量子エレクトロニクスの基礎に関する実験的・理論的研究。

助成対象者 大学等の研究機関において自然科学分野の研究に従事している若手研究者

推薦者 財団の定める全国の大学、研究機関、関係学会等

助成金額 総額 2,200 万円

件数 5~6 件(1 件当たり 200~400 万円)

募集期間 4 月 1 日~7 月 31 日

審査・決定 自然科学選考委員会の選考を経て、理事会において決定する。(9 月中旬予定)

##### ②研究集会・国際共同研究の開催及びこれらへの参加に対する助成

対象研究分野 前記学術研究助成の分野

助成対象者 研究集会開催責任者、国際共同研究にあつては代表研究者  
海外の国際会議に出席し、対象研究分野の研究論文発表を行う若手研究者

助成費 総額 50 万円(2~3 件)

募集 随時受付

審査・決定 選考委員長の審査を経て、理事長が決定する。

## (2)褒賞（公2）

### ①松尾財団宅間宏記念学術賞

授賞対象者	原子分子物理学と量子エレクトロニクスの研究で特に業績が顕著と認められる研究者(若手研究者を優先)
推薦者	財団の定める全国の大学、研究機関、関係学会等
賞金と件数	原則として1件 賞金200万円
募集期間	4月1日～7月31日
審査・決定	審査は前記学術研究助成の選考委員会が当り、理事会において決定する。

### ②（堀素夫賞）

授賞対象者	確率・統計分野で、特に数理的研究業績が顕著と認められる研究者。 年齢不問
推薦者	関係する分野の学識経験者
賞金と件数	原則として1件 賞金200万円
推薦期間	追って決定
審査・決定	追って決定

## (3)調査研究（公3）

平成29年度の公3研究活動は、「科学研究についての認識判断における平成28年の背景事情」（別紙）を踏まえ、引き続き世論動向のメディア検索とPNAS（全米科学アカデミー紀要）論文の検証を行い、人類の文化における自然科学研究の価値を、自然科学と人文科学の両面で正しく評価する基盤を確立する調査研究を行い、その成果を世に問う出版へのパイルアップ（積みあげ）活動を進行する。予算は世論検索調査研究費250万円を計上する。

## (4)音楽助成（公4）

### ①音楽助成(松尾音楽助成)

優れた若手弦楽四重奏団の育成を目的とする音楽助成で、当財団の特色ある助成として実施する。

対象	若手の弦楽四重奏団(平均年齢35歳以下)
推薦者	財団の定める音楽大学、管弦楽団、又は財団役員を含む音楽界有識者
助成金額	総額500万円(助成期間1年)
助成団体	助成団体2～3団体
募集期間	4月1日～12月27日

審査・決定 書類選考の後、翌年 2 月オーディションを行い音楽選考委員会の審査を経て、理事会において決定する。

②コンサートの開催

すでに松尾音楽助成を受けた団体の研修成果の発表の場として、一般聴衆を対象とした入場無料のマツオコンサートを開催する。(翌年 2 月、よみうり大手町ホール)

選考委員会

自然科学選考委員会(学術研究助成・褒賞)

委員長 加藤 義章 (光産業創成大学院大学学長)

委員 藪崎 努 (京都大学名誉教授)

北野 正雄 (京都大学副学長)

山崎 泰規 (理化学研究所上席研究員)

渡辺 信一 (電気通信大学教授)

白田 耕藏 (電気通信大学特任教授)

音楽選考委員会

委員長 岡山 潔 (東京藝術大学名誉教授)

委員 大谷 康子 (東京音楽大学教授)

川崎 和憲 (東京藝術大学教授)

澤 和樹 (東京藝術大学学長)

原田 幸一郎 (桐朋学園大学教授)

山崎 伸子 (元東京藝術大学教授)

以上

## 平成 29 年度 収 支 予 算 書(事業区分別経理)

〈平成 29 年4月1日～平成 30 年3月31日〉

(単位:千円)

	公益目的事業会計					小計	法人会計	合計
	公1	公2	公3	公4	共通			
	自然科学助成	褒賞	調査研究	音楽助成				
I 一般正味財産増減の部								
1.経常増減の部								
(1)経常収益								
①基本財産運用益								
基本財産利息	9,641	2,126	2,324	3,355	674	18,120	18,120	36,240
②特定資産運用益								
特定資産利息	10,378	2,289	2,501	3,611	726	19,505	8,359	27,864
③受取寄付金						0		0
④雑収益						0	99	99
経常収益計	20,019	4,415	4,825	6,966	1,400	37,625	26,578	64,203
(2)経常費用								
①事業費								
助成費	22,500			6,100		28,600		28,600
褒賞費		4,000				4,000		4,000
調査研究費			2,500			2,500		2,500
選考費	1,492	755		1,800		4,047		4,047
役員報酬	1,890	770	3,150	770		6,580		6,580
給料手当	576	144		720		1,440		1,440
退職給付費用	434	235	900	106		1,675		1,675
法定福利費					474	474		474
会議費	735	150				885		885
旅費交通費	236	76	128	132		572		572
通信運搬費	149	47	68	112		376		376
消耗什器備品費					15	15		15
事務用消耗品費	16	4	8	12		40		40
印刷製本費	2	1	1	2		6		6
借室費					1,471	1,471		1,471
②管理費								0
役員報酬						0	3,220	3,220
給料手当						0	1,440	1,440
退職給付費用						0	775	775
法定福利費						0	535	535
会議費							880	880
旅費交通費						0	436	436
通信運搬費						0	376	376
消耗什器備品費						0	100	100
事務用消耗品費						0	100	100
印刷製本費						0	420	420
借室費						0	1,471	1,471
図書費						0	132	132
雑費						0	1,000	1,000
経常費用計	28,030	6,182	6,755	9,754	1,960	52,681	10,885	63,566
評価損益等調整前	-8,011	-1,767	-1,930	-2,788	-560	-15,056	15,693	637
基本財産評価損益等								
特定資産評価損益等								
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	-8,011	-1,767	-1,930	-2,788	-560	-15,056	15,693	637
2.経常外増減額								0
(1)経常外収益								0
(2)経常外費用								
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減	-8,011	-1,767	-1,930	-2,788	-560	-15,056	15,693	637
II 指定正味財産増減の部						0		0
当期指定正味財産増減額								
III 当期正味財産増減額	-8,011	-1,767	-1,930	-2,788	-560	-15,056	15,693	637